年　　月　　日

AJI大学院連携次世代研究者育成プログラム　申請調書

下記の通り、研究計画を提出いたします。記載事項に誤りがないことを証します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 |  | 生年月日 | 　　　年　　月　　日 |
|  | （満　歳） |
| 専門分野ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ | 所属・職位： |  |
| 氏　　　名： |  |
| 学位取得 | 　　　研究科 | 博士（○○学、立命館大学）　20xx年xx月 |

以降の項目について、ファイルの余白・行間の設定、文字の大きさ（10pt）を変更してはならない。

いずれの項目も必要に応じて図表を用いてもよい。

研究計画書を提出する際には青字の注意書きを削除すること。

Ⅰ．研究計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

セクションⅠは概要を除き3～4ページで次の各項目について3年間の研究期間を見据えた研究計画書を作成すること。研究内容とともに、表現の明確さや論理的一貫性なども評価の対象となる。

**１．概要（全体のサマリー）**

|  |
| --- |
| 研究課題全体のサマリーを10行程度で記述すること。 |

**２．研究課題の学術的背景**

|  |
| --- |
| 適宜、先行研究を参考文献として挙げること。自身のこれまでの研究業績を含めても良い。文献は文中（）内に書誌データを示しても、当項目の最後に文献一覧を付し、文中は[著者名、刊行年]だけを記述する方式としてもよい。 |

**３．本研究課題で究明すべき核心的な学術的「問い」**

**４．本研究課題の目的**

**５．研究課題の学術的独自性**

|  |
| --- |
| 先行研究や現在の学術的な流れと比較しての独自性を適宜参考文献を挙げて記述すること。 |

**６．本研究課題の創造性**

|  |
| --- |
| 自身のこれまでの研究をさらに発展させる創造性について記述すること。今次申請課題が従来の研究と異なる場合、研究の連続性は問わない。 |

**７．予想される学術的発見、新しい知見等の成果**

**８．成果の発表方法**

**９．研究計画**

|  |
| --- |
| 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのかについて年度ごとにその研究計画を記述すること。 |

**Ⅱ．これまでの研究と今後の志望**

セクションⅡは2ページ以内で次の各項目について記述すること。

**１．自身の専門分野**

|  |
| --- |
| 分野名だけでなく、当該分野の簡単な紹介、学位、所属学会等の情報も含めて文章で記述すること。中心的な専門分野のみならず、部分的に専門としている分野や、分野横断的な研究主題がある場合はそれも書くこと。 |

**２．これまでの研究の概要**

|  |
| --- |
| 研究の動機なども含めて、研究課題、研究の内容、携わった実験やフィールド調査について記述すること。 |

**３．学位論文**

|  |
| --- |
| 題名、提出した研究科、学位授与日、Web公開のDOI、全文公開・概要のみの区別等の情報を記述すること。 |

**４．学位論文を基にした出版計画**

|  |
| --- |
| 出版助成の申請を含めて、今後の計画や希望などについて記述すること。 |

**５．これまで指導を受けてきた研究者**

**６．今後の志望**

|  |
| --- |
| 短期・長期の志望について、どのようなアカデミックポスト・研究ポストを目指しているか、あるいはどのような大学や研究機関で仕事をしたいかについて記述すること。 |

**７．来年度に予定している執筆・発表・科学研究費補助金獲得へ向けた取り組み**

|  |
| --- |
| 来年度に予定している著書、論文等の執筆や研究発表、科学研究費補助金への申請計画について記述すること。 |